

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

第5号

2004.12

充実した設備と癒しの空間が共存する
新病棟が完成しました

かしわばゼミナール
車を運転していて、自然と片側に寄っていったら要注意

食べて健康

玉ねぎ

おしらせ

『地域医療連携室』を開設しました

札幌ドーム展望台より撮影

【発行】医療法人 柏葉脳神経外科病院 〒062-8513 札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
URL <http://www.kashiwaba-nougeka.or.jp> TEL(代)011-851-2333 FAX 011-851-2131

【制作】有限会社 慶文社

充実した設備と癒しの空間が共存する
新病棟が完成しました



B館 2階 回復期 リハビリテーション病棟

救急医療のさらなる充実とリハビリテーション体制の強化に向けて、新病棟がオープンしました。専任の病棟スタッフが回復へ向けた治療とリハビリを支えています。

ここでは、回復期リハビリの強化に重点を置いた治療が進められます。継続的なリハビリを行うために年末年始も休むことはありません。リハビリが効率良く的確に行われれば、在宅復帰や社会復帰の質がより向上します。

回復期リハビリテーション病棟には1人部屋が2室、2人部屋が1室、4人部屋が10室の計44床があり、車椅子トイレ10カ所を備え付けました。共有部分のデイルームや洗面コーナーは明るく開放的です。患者さんにとっても、スタッフにとっても、「安全で快適な環境」になっています。

患者さんにも
スタッフにも
快適な環境を

柏葉脳神経外科病院院長
金子貞男



また、精神面のケアにも力を注ぎ、「心と体のリハビリ」にも取り組んでいます。さまざまな立場の専門スタッフが、患者さん一人一人の病状と経過をふまえて、今後の治療方針を決めています。

地域医療連携室も
本格稼働

当院は脳神経外科の専門病院として、最先端医療を提供するほか、地域の中核病院としての役割を担っています。近隣の病院・医院と連携し、24時間体制で救急医療に力を入れていますが、12月からは、院内に開設した「地域医療連携室」が稼働し、より積極的な連携が可能になりました。

私たちは、多くの患者さんやご家族の方によりよい毎日を送れることを強く願っています。今後も質の高い医療提供に力を注ぎ、地域の皆様に信頼される病院を目指して歩み続けます。



スタッフステーションの出入口は2カ所。スムーズで迅速な動線が考慮されています

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

看護とリハビリの質の向上を目指して



広く開放的なダイニング

充実した施設



畳スペースが好評の談話コーナー

癒しの空間

**B館1階には
リハビリテーション施設が
開設されています**

1階にあるリハビリテーション施設では、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等による機能回復訓練を行うほか、ADL室において生活技能訓練を行い、社会復帰のための第一歩を目指します。



日常生活を送るための訓練を行うADL室



理学療法室



作業療法室



言語聴覚療法室



広く明るい洗面コーナー



トイレはすべて車椅子対応



随所に飾られた花々が入院生活に彩りを添えます

かしわば ゼミナール 第5回

車を運転していて、自然と 片側に寄っていったら要注意

脳の病気の可能性があります

本人は気が付かない 視界の半分が見えない症状

例えば、車の運転が上手だった人が、ある時から、よく脱輪したり、電柱にぶつかりそうになることがあります。本人はまっすぐ走っているつもりなのですが、同乗者は、車が片側に寄っていくことに気がつきます。

これは、視界の半分が見えていないために起こる現象です。車が右に寄ってしまう場合は、左半分が見えておらず、視界が全体的に右側にずれた状態になります。そのため、本人が正面だと思おう方向が、右側にずれてしまふのです。同様に、車が左に寄っていく場合は、右半分が見えていないということになります。



また、ご飯を食べる時に、片側のおかずだけをキレイに残してしまうという人もいます。この場合も、視界の半分が見えていないのが原因です。この症状は「半側空間無視」と呼ばれています。本人に自覚症状がない場合が多く、家族や周りの人からの指摘で見られることが多いようです。

家族や周りの人と お互いに気を配りましょう

半側空間無視の原因は、脳卒中や脳腫瘍などが考えられます。脳の病気では、しびれや麻痺といった症状だけに注目しがちですが、「視界」に症状が現れることもあるのです。

もいます。この場合も、視界の半分が見えていないのが原因です。この症状は「半側空間無視」と呼ばれています。本人に自覚症状がない場合が多く、家族や周りの人からの指摘で見られることが多いようです。

ともあるのです。

家族や周りの人とお互いに気を配り、少しでも心配なことがあれば、脳神経外科を受診しましょう。普段の生活の中、ちょっとした変化に気が付くことが、早めの治療につながるのです。

食べて健康

玉ねぎ



血液サラサラ効果は、玉ねぎに含まれる酵素が反応することによって生まれる「プロピルメルジルスルフィド」という化合物のおかげです。

サラサラ効果物質を増やす調理法

「プロピルメルジルスルフィド」を増やすには「玉ねぎの繊維に対して垂直に薄く切る」「水にさらさない」「切ってから15分ほど空気にさらしてから調理すること」が大切です。

疲労回復や不眠症にも

玉ねぎの成分には、ビタミンB₁の吸収を助ける働きもあり疲労回復や不眠等の症状にも効果的です。

受診・入院いただく患者さんに対しては勿論のこと、職員に対してもアメニティの向上を目指して行われております当院の増改築工事は、回復期リハビリテーション病棟の完成を迎え、B館4階管理棟の改築工事を残すのみとなります。

編集後記

した。あと4カ月あまりの工期があります。ありがとうございます。わりと穏やかな日が続いていますが、風邪薬が一番良く売れるのはこの時季だそうです。健康管理には十分ご注意ください。(小川)

地域医療連携室

〒062-8513
札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
特定医療法人 柏葉脳神経外科病院

TEL 011-851-2370

FAX 011-851-9466

受付時間：9：00～16：00

※土・日曜日、祝祭日は休日とさせていただきます

NEWS おしらせ

「地域医療連携室」を
開設しました

患者さん一人一人に対して、当院のみならず他施設との連携を図りながら治療にあたる。そんな地域完結型の医療の一端を担っていただければと考えています。